

コード	40202
作成年度	21 年度

基本事業評価表

基本事業名称	農地の保全と有効利用
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115		関係課名										
主管課名	農林課												
基 本 事 業 の 目 的													
家庭菜園の推進、本町の特産品である甘藷の栽培などによる遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理を促進し、新規農業就業者等に対する農地の貸与や集積化などができる体制づくりを推進することを目的とする。													
基 本 事 業 の 成 果													
成果指標名称 1			遊休荒廃地解消面積			成果指標名称 2							
成果指標の積算根拠			解消面積(実績)/目標			成果指標の積算根拠							
目標達成年度			平成21年度			目標達成年度							
目標達成数値			4.0			目標達成数値							
年 度				H17		H18		H19		H20		H21	
成 果 指標1	目標 A		単位	ha	4	4	4	4	4				
	実績 B			ha	0.3	0.6	2.4	4.8					
	達成率 B/A			%	7.5	15.0	60.0	120.0					
成 果 指標2	目標 A		単位										
	実績 B												
	達成率 B/A			%									
1次評価	現状		町、県普及センター、JA営農指導員と連携し各地区において、現地指導を行った。遊休地・荒廃地の有効利用及び維持管理の促進についても現地指導の中で働きかけ誘導を図った。新規農業就業者に対する農地の貸与や集積化などができる体制づくりについては、農業委員会と連携し、農業委員等による貸与や集積化可能な農地を明確にする作業を行っている。										
	課題		家庭菜園については、高齢者が多く若者の関心が薄い。遊休地・荒廃地の有効利用・維持管理の促進については、農地貸与に対する地主の不安感と不在地主が多く行き詰まり感がある。新規農業就業者等に対する農地貸与や集積化などができる体制づくりについては、農業振興事業と合わせ実施していく中で、担当職員数に限りがあり思うように進まない。										
	改善		家庭菜園推進については、定年退職者層への誘導を図る。遊休地・荒廃地の有効利用・維持管理の促進については、甘藷の新たな生産量確保問題に直面しており、機械導入できる農地を早急に絞込み普及する必要がある。新規農業就業者等に対する農地貸与や集積化などができる体制づくりについては、町の基本構想による農地合理化事業を踏まえ、農地の再活性化を図る。										
2次評価			遊休農地・荒廃地の有効利用について、貸与の方策について土地所有者の疑義を解消する対策を打ち、就農希望者へスムーズに貸与がなるよう努めること。また就農希望者の把握に努め貸与の仕組みの制度化を図るなど検討すること。										
住民等の意見													
町の対応													

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。